

内閣総理大臣杯争奪
第38回日本車椅子バスケットボール選手権大会
個人トータル表

2009年5月6日 14時40分開始

決勝

東京体育館 M - 8

◎
宮城MAX
(東北)

64

15 1クォーター 17
19 2クォーター 9
16 3クォーター 8
14 4クォーター 16

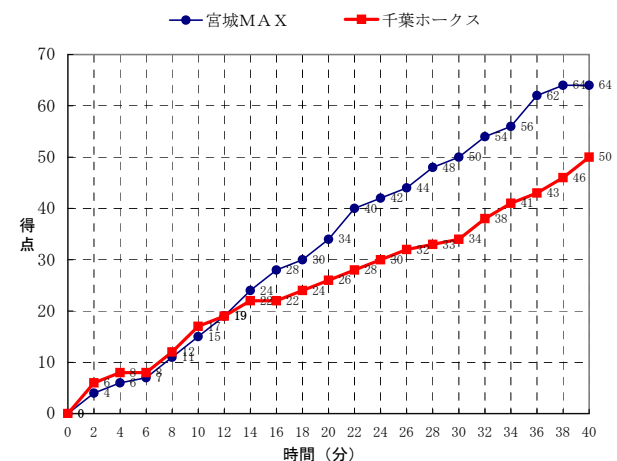
50

千葉ホークス
(関東)

番号	氏名(持ち点)	得点	3P	2P	FT	RB	AT	反則	番号	氏名(持ち点)	得点	3P	2P	FT	RB	AT	反則
* 4	向後 寄夫 (2)	10	0	5	0	-	-	3	* 4	土子 大輔 (4)	13	0	6	1	-	-	1
5	高橋 浩則 (2.5)	-	-	-	-	-	-	-	5	植木 隆人 (2)	-	-	-	-	-	-	-
6	三浦 裕也 (2.5)	-	-	-	-	-	-	-	6	下村 浩之 (1)	-	-	-	-	-	-	-
7	大槻 智志 (4)	-	-	-	-	-	-	-	7	田中 恒一 (3)	-	-	-	-	-	-	-
8	加藤 芳博 (3)	-	-	-	-	-	-	-	8	坂井 大 (2.5)	-	-	-	-	-	-	-
* 9	中澤 正人 (4)	2	0	1	0	-	-	3	9	阿部 匡志 (2)	0	0	0	0	-	-	1
* 10	東海林 和幸 (1.5)	2	0	1	0	-	-	4	* 10	千脇 貢 (2.5)	7	0	2	3	-	-	3
* 11	藤井 新悟 (1.5)	6	0	3	0	-	-	2	11	香西 宏明 (3.5)	-	-	-	-	-	-	-
12	佐藤 正哲 (2)	-	-	-	-	-	-	-	12	田仲 幸生 (1.5)	0	0	0	0	-	-	0
* 13	藤本 怜央 (4.5)	44	1	19	3	-	-	3	* 13	森 紀之 (2)	8	0	4	0	-	-	0
16	菅原 志朗 (1)	-	-	-	-	-	-	-	14	鈴木 明将 (3.5)	10	0	5	0	-	-	1
17	豊島 英 (2)	0	0	0	0	-	-	0	* 15	京谷 和幸 (1)	4	0	2	0	-	-	2
18	椎名 光男 (3)	-	-	-	-	-	-	-	* 16	伊東 容臣 (4)	8	1	2	1	-	-	1
		-	-	-	-	-	-	-	17	宇埜 雄太 (1)	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-
コーチ	岩佐 義明								コーチ	菊池 哲博							
Aコーチ	石川 大介								Aコーチ	猪田 博敏							
マネージャー	岩佐 望美								マネージャー	牛込 公一							
マネージャー	岩佐 絵里								マネージャー	左東 摩子							
マネージャー	会田 優								マネージャー	浪川 明美							
	合計	64	1	29	3	0	0	15		合計	50	1	21	5	0	0	9

主審： 杉山 兼芳
副審： 増竹 昇
副審： 加藤 昌樹

得点経過



〔戦評〕

昨年と同じく宮城MAXと千葉ホークスの対戦。宮城MAXの連覇なるか、千葉ホークスの雪辱なるか。

1 Q：宮城MAX#4向後、#9中澤、#10東海林、#11藤井、#13藤本、千葉#4土子、#10千脇、#13森、#15京谷、#16伊東のメンバーでスタート。宮城#13、千葉#4のタップオフ、宮城がボールを得る。宮城#13のミドルシュートで先制。千葉#13のシュートで返す。更に#4のレイアップシュートで千葉リード。宮城、千葉のマンツーマンディフェンスをかわし、#13のシュートで同点とする。千葉は宮城のゾーンディフェンスに対し、#4のミドルシュートが決まり、リード。どちらも一歩も譲らない攻防が続く。千葉スピードのある攻めで、#10のシュートで10-7とリード。しかし、ゴール下宮城#13がシュートをねじ込み1点差。千葉#14鈴木明のシュートでリードを広げるも、テクニカルファールにより、フリースロー#13が2本沈め、更にお互いシュートの入れ合いとなり、17-15千葉リードで終了。

2 Q：千葉ボールでスタート、#4のシュートが決まる。宮城#13が連続してシュートを決め同点。宮城#10のシュートでリードを奪い、#13の3Pでリードを広げる。千葉のシュートが決まらず、宮城#13がシュートを確実に押し込み、6点リードとなる。流れを変えたい千葉タイムアウト。激しいディフェンスでターンオーバーの連続となるも、宮城#13、千葉#13のシュートの応酬。宮城#11、#13のシュートが決まり、10点リード。宮城のマンツーマンディフェンスをくぐり抜け、千葉#13がシュートを決め、26-34と宮城8点リードで終了。

3 Q：宮城ボールでスタート、#13が確実にシュートを決める。千葉も#10のシュートで返す。宮城#13が続けてシュートを決め、12点リードとなる。宮城ゾーンディフェンスで、千葉に得点を許さない。厳しいマークをかいくぐり、宮城#13がシュートを決めリードを広げ、16点リードで終了。

4 Q：千葉ボールでスタート、#4のシュートが決まるものの、宮城#13へのマークのすきをついて、宮城#4のドライブインシュートで返す。オールコートディフェンスでプレッシャーをかける千葉、しかし、宮城#13のシュートはゴールに吸い込まれていく。千葉#16の3Pが決まり、リズムを得たい千葉だが、走りこむ宮城が得点を重ね、19点リード。千葉#16のドライブインで反撃するも、宮城ボールを回し時間を使い切っていく。千葉#16のプザービーター、14点リードで宮城MAXの勝利となった。

(担当：鳥越/松木/箱守)